

ヴィペール弘前 F C 活動方針

指導方針

保護者へのお願い



V i p e r e (ヴィペール)とは

フランス語で「まむし」という意味。

1998年、小学校の名前をチームから外そうという考えから命名する。

北小周辺の町名の頭文字をとって「MAMUSI」。1998年はフランスワールドカップの年なのでフランス語にして名づける。

チームのエンブレムは、まむしと勝利(Victory)のVをデザインし、ユニフォームの水色、黄色、白を取り入れた。(2001年 佐藤全克氏がデザインする)

M・・・Miyazono(宮園)

A・・・Aoyama(青山)

MU・・・Mukaitonose(向外瀬)

S・・・Seinofukuro(清野袋)

I・・・Iwaga(岩賀)

ヴィペール弘前FC活動方針

活動の目的

サッカーというスポーツを通じて、心身を健全に成長させ、スポーツを愛し、運動の好きな子どもを育てる。

練習や試合を通じて、最後まで努力する心

チームメイトと協力する心

ルールを守る心

自分にかかわるすべての人を尊敬し、感謝する心を育てる。

サッカーの基本的技術を身につけさせ、クリエイティブな選手を育てる。

活動方針

フェアプレー精神の徹底

ルールを正確に理解し、あらゆる状況において、フェアな判断と行動ができるようにする。
相手競技者や審判に敬意をはらい尊重する。

自立した個を目指す

自分のことは、自分でする。

試合や練習の準備、用具の管理は自分で行う。

(大人は手をかけないで、声をかけよう。)

責任と自覚

良いサッカー選手である前に、良い小学生であること。

オフザピッチ(サッカー以外の場)での生活態度の育成。

サッカーだけができてダメ、あいさつの励行

健康管理

時間の使い方

学校や社会のルールを守る

指導方針

サッカーの楽しさを感じさせる指導

ボールにたくさんふれること、ゴールを決めることがサッカーの一番の楽しみ。
ミニゲーム(少人数制)を多く取り入れる。

子どもの判断力を高める指導

サッカーは自分で決めたことを実行するからおもしろい。
子どもが判断して実践したプレーを尊重する。
ゲーム中に選手の助けとなるようなコーチングはしない。

少年期にあった指導

身体に負担をかけるようなランニングなどはやらない。
体カトレーニングより、神経系の発達にあわせた指導。
将来まで役に立つ技術を身につけさせる。

勝つことは目的ではなく動機付け

最終的な指導の目的は勝つことではない。勝つことだけにこだわった指導をすると、サッカー本来の楽しみが損なわれる危険性がある。勝負に挑む子どもたちには、最後まであきらめず勝とうとする気持ちは必要である。そのモチベーション(動機付け)を高めるように心がける。

どのカテゴリーも大会などには積極的に参加する

サッカーに対する精神面、技術面が優れていると指導者が判断した場合
上のカテゴリーでの活動の機会を与えられる。

〈ヴィペール弘前 FC 保護者の皆様へのお願い〉

トレーニングへの送り迎えは保護者の責任でお願いします。
弘前市近辺での試合のときは選手の送迎を協力して行いましょう。なお、万が一事故があっても運転者の責任は問わないようにお願いします。
低学年の練習ではお手伝いが必要な場合があります。協力してお願いします。
試合時の子供の管理をお願いします。
テント、ブルーシートやその他試合時に必要な物の運搬をお願いします。
テント、ブルーシートなどの設営にご協力ください。
通院、入院が必要なケガをした場合はスポーツ安全保険で対応します。
年生の最後まで活動を続けられるように家庭でも励ましの言葉をかけましょう。
家庭での生活は選手自身が自分で管理できるようにしましょう。
「親のための10の心得」をよく読み実践しましょう。

【親のための10の心得】 ノルウェーサッカー協会

1. 試合や練習を見に行き行ってあげましょう。
- 子供はそれを望んでいます。
2. 試合ではすべての子供を応援してあげましょう。
- 自分の子供だけではないけません。
3. 調子の良いときだけでなく、調子の悪いときも勇気づけてあげましょう。
- 批判してはいけません。
4. チームリーダーを尊重してあげましょう。
- 彼らの判断を批判してはいけません。
5. 審判はインストラクター（指導者）とみなしましょう。
- 審判の判断を批判してはいけません。
6. 子供が参加することを刺激し、勇気づけてあげましょう。
- プレッシャーにならないように
7. 試合がエキサイティングだったか、楽しかったか、聞いてあげましょう。
- 結果だけを聞くことのないように
8. サッカーにふさわしい、節度ある用具を準備してあげてください。
- おおげさになってはいけません。
9. クラブの仕事を尊重してください。
- 積極的に、どのような態度で臨むべきかを話し合しましょう。
10. 忘れないでください。サッカーをするのはあなたの子供です。
- あなたではありません。